

平成23年9月から平成24年2月までに未然回避出来た報告例(平成24年3月集計)

No	患者情報		報告に関する患者追加情報		担当薬剤師	情報発端	原因・疑義照会内容	情報提供前			情報提供後			情報提供後の変更事由	報告日
	性別	年齢	疾患・副作用情報	治療中の疾患				薬剤名	投与量	用法	薬剤名	投与量	用法		
1	女性	30歳代	副作用:ルーランで強い眠気		処方せん監査	処方せん	その他の副作用	デバケンR100mg	0.5T	朝食後	エビナート徐放顆粒	0.125g	朝食後	剤形変更	2012/2/7
【報告者のコメント】徐放性製剤を半錠にすることによる急激な血中濃度上昇による副作用発現を回避できたと考えられる。															
2	男性	10歳代	体重:33kg		処方せん監査	薬歴	誤転記・誤処方	カロナール細粒	1.3g	頓服	カロナール細粒	1.6g	頓服	薬剤増量	2012/2/20
【報告者のコメント】12歳33kgの小児で1週間前の処方が1.6gだったことを考えると、1.3gに減量する理由が症状の変化以外にないため、Drに疑義照会、処方ミスである事判明															
3	女性	70歳代			処方せん監査	お薬手帳	重複投与	レフトーゼ50mg	3T	毎食後	削除			薬剤中止	2012/2/20
【報告者のコメント】他院にてレフトーゼ50のジェネリックであるミタチーム90が処方されていた。Dr疑義照会後レフトーゼ中止となる。															
4	女性	60歳代			薬剤管理指導	お薬手帳	同種同効薬重複	アダラートCR20mg	2T	朝夕食後	変更なし			服薬指導	2011/11/1
【報告者のコメント】お薬手帳により他院で「オルメテック」「アムロジピン」が処方されている患者であった。降圧剤特にCa拮抗剤について重複するが、追加の処方でよいとの確認を得て服薬指導を行った。															
5	男性	80歳代			調剤	お薬手帳	処方漏れ				ワーファリン1mg	2T	朝食後	薬剤追加	2012/2/20
【報告者のコメント】退院時処方がお薬手帳に貼ってあり、退院後初外来で処方もれ(理由不明)で発見、ワーファリンは中止・中断でなかったことを医師に確認し、処方追加となった。															
6	女性	70歳代			薬剤管理指導	お薬手帳	重複投与	ガスター-D20mg	2T	朝夕食後	変更なし			服薬指導	2012/2/1
【報告者のコメント】他院でPPIの「オメプラール」が処方されていることがお薬手帳にて判明、投与期間中は「オメプラール」を使わないようにしてほしいという医師の指示を患者に伝えています。よって処方変更なし															
7	女性	60歳代			処方せん監査	処方せん	同種同効薬重複	ステープラ0.1mg	2T	朝夕食後	変更なし			服薬指導	2011/10/26
【報告者のコメント】処方せん上の指示がなかったため「ステープラ」服用終了後「ベタニス」を開始するものである事を医師に確認し、患者に服薬指導をおこなった。															
8	女性	70歳代		網膜症	処方せん監査	処方せん・薬歴	誤転記・誤処方	アドナ30mg	2T	朝食後	アドナ30mg	1T	朝食後	薬剤減量	2012/2/6
【報告者のコメント】アドナ錠30mgの投与量は今まで1日2回(朝夕)1Tずつであったのが1日1回朝食後2Tになっていたため疑義照会を行い、1日1回1Tに変更された。医師によると経過良好である事、高齢者である事を考えての減量との事であった。															
9	男性	60歳代		不整脈	調剤監査	お薬手帳	禁忌 心不全の治療	ミケランLA	2.5ml	就寝前	ラタノプロスト	2.5ml	就寝前	薬剤変更	012/2/8
【報告者のコメント】高齢の患者様の場合、気管支喘息、心不全等の既往がある方が多いため十分な注意が必要															
10	男性	20歳代			処方せん監査	お薬手帳	重複投与	ロルフェナミン レバミピド	3T 3T	毎食後 毎食後	レバミピド	3T	毎食後	薬剤中止	2012/3/10
【報告者のコメント】お薬手帳により、重複投与が防げた															
11	男性	80歳代		脳梗塞・糖尿病・ 高血圧 骨粗しょう症 前立腺癌	処方せん監査・ 薬剤管理指導	薬歴	併用禁忌	メジコン錠	6T	毎食後	ツムラ清肺湯	9g	毎食前	薬剤変更	2012/2/14
【報告者のコメント】エクセグラン散服用中の患者さんにメジコン錠処方、デキストロメトルファンは中枢のセロトニン濃度を上昇させ、MAO阻害剤はセロトニンの代謝を阻害し、セロトニンの濃度を上昇させるので、併用によりセロトニンの濃度がさらに高くなるため併用禁忌である。															
12	女性	80歳		閉塞隅角 緑内障	調剤	薬歴	併用禁忌	ダイアモックス末 クルコンサンK細粒	0.5g 1g	朝夕食後 朝夕食後	ダイアモックス末 削除	0.5g	朝夕食後	薬剤中止	2012/3/7
【報告者のコメント】今回、数値的に眼圧上昇あり。緑内障治療薬と上記内服薬が処方された。併用薬チェック時、過去の記録で他院にてセフラ錠50mgを確認。ご本人・付き添いの方に継続服用中かを確認しても確認がなく医療機関に確認。継続服用中である事確認できたため処方医に情報提供しクルコンサンKの処方中止															
13	女性	72歳		緑内障	調剤	医師からの 相談	同種同効薬重複	ザラカム配合点眼 コンプト配合点眼		朝 朝夕	ザラカム配合点眼 エイソプト懸濁性点眼	朝 朝夕		薬剤変更	2012/3/7
【報告者のコメント】緑内障コントロール中の患者。当日眼圧上昇のためサンピロ2%からコンプト配合点眼へ処方変更、ザラカム、コンプトどちらも配合剤でありチモロールマレイン酸の成分が重複している為疑義照会後、エイソプト懸濁性点眼に変更。今回は最近の配合剤の新規発売が多くDrの思い違いが原因でしたが、今後内服も含めて成分重複の慎重な監査が必要と思われる。															